



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 飯塚 伸

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,036	13.3	118	69.2	119	69.0	80	69.7
2019年3月期第2四半期	1,195	29.3	385	149.0	385	137.4	265	141.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 82百万円 (71.1%) 2019年3月期第2四半期 285百万円 (136.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.73	
2019年3月期第2四半期	38.66	

(注1)「1株当たり四半期純利益」は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(注2)「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,154	3,315	79.8
2019年3月期	4,209	3,357	79.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,315百万円 2019年3月期 3,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		18.00	18.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	1.4	400	29.1	400	29.3	300	26.4	43.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注1) 詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,924,200 株	2019年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	54,832 株	2019年3月期	54,784 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,869,386 株	2019年3月期2Q	6,867,295 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には、信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢や設備投資が底堅く、国内経済は堅調に推移いたしました。情報サービス業の売上高は前年同月比を11ヶ月連続で上回り、なかでもソフトウェアプロダクツの分野では前年同月を14.6%と大幅に伸ばいたしました。(特定サービス産業動態統計調査速報 2019年8月分)

このような状況のもと、当社グループは、製品開発面では引き続き、主力製品である「ESS REC」へのAI機能搭載に向けた研究開発や次世代版SIO製品の研究開発に努めました。

営業面では、「第4回Iot Security Forum 2019」や「FIT大阪」への出展に加え、本社セミナールームで開催するセミナーやWEBセミナーを7回開催し、当社ソリューションの認知度向上及び有効性についての訴求を行ってまいりました。

なお、当社の主力製品である「ESS REC」は、ミック経済研究所調査による「システム証跡監査ツール」市場において10年連続シェア1位を確保し、当社製品の導入企業は、2019年9月末日現在で620社を超えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,036,568千円(前年同期比13.3%減)となりました。また、営業利益は118,654千円(前年同期比69.2%減)、経常利益は119,490千円(前年同期比69.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は80,551千円(前年同期比69.7%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、

- ・株式会社アクロテックの人材をパッケージソフトウェア事業へ集約
- ・開発人員(エンジニア)の教育へ組織的に取り組み
- ・出資先である株式会社リアルグローブと協業を開始し、新しい技術を取り込んだ製品開発を実施
- ・新卒採用をエージェントに依存した方法から大学の研究室等と連携した方法に切り替え

など積極的に取り組みましたが、今後も人材への投資を継続して行っております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージソフトウェア事業

当第2四半期連結累計期間におけるライセンス売上は、前年同期における重要インフラ事業者(公共)に対する大型案件による反動により対前年同期比で43.3%減少いたしました。当該大型案件を除いた売上高は、連結決算を開始した2017年3月期以降で最高となりましたが、継続的に大型案件を獲得するための営業力の強化が課題であると認識しております。また、ストックビジネスである保守サポートサービス売上とクラウドサービス売上は新規契約及び契約更新が引き続き順調に増加し、セグメント売上高は993,424千円(前年同期比11.6%減)となりました。セグメント利益は、製品開発を加速させるためシステム開発サービス事業からの人員シフトや組織強化による人員の増加、外注加工費を増加させたことにより394,662千円(前年同期比37.1%減)となりました。

②システム開発サービス事業

当第2四半期連結累計期間におけるシステム開発サービス事業は、パッケージソフトウェア事業への統合を加速させたことにより、セグメント売上高は43,144千円(前年同期比39.8%減)となり、セグメント損失は18,299千円(前年同期はセグメント利益9,833千円)となりました。なお、2019年8月26日付け「子会社の事業休止に関するお知らせ」に記載のとおり、2019年9月末日をもって本事業を休止いたしました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメント販売実績

(単位:千円)

報告セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
うちESS REC (REC)	198,622	169,130
うちその他ライセンス	250,569	85,759
ライセンス	449,192	254,889
保守サポートサービス	500,998	559,119
クラウドサービス	32,687	37,260
コンサルティングサービス	104,133	100,283
SIO常駐サービス	14,884	14,815
その他	22,206	27,055
パッケージソフトウェア事業 計	1,124,102	993,424
システム開発サービス事業	71,693	43,144
合 計	1,195,795	1,036,568

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ54,982千円減少し、4,154,748千円(前連結会計年度末比1.3%減)となりました。主として売掛金の減少71,684千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ12,910千円減少し、839,717千円(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。主として未払法人税等の減少66,013千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ42,072千円減少し、3,315,031千円(前連結会計年度末比1.3%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の配当124,628千円の支払によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,338,754千円(前事業年度末比15,008千円増)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、214,936千円(前年同期比454,895千円減)となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益111,823千円、前受金の増加額154,717千円、主な支出要因は賞与引当金の減少額44,793千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は、75,257千円(前年同期比28,849千円の支出減)となりました。主な支出要因は、開発用サーバー等の有形固定資産の取得による支出40,322千円、製品の拡張・改良に伴う市場販売目的のソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出37,453千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は、124,670千円(前年同期比38,121千円の支出増)となりました。配当金の支払額124,628千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間におけるのれんの減損損失7,666千円の計上等に伴い、以下のとおり修正を行っております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	2,300	400	400	310	45.13円
今回発表予想(B)	2,300	400	400	300	43.67円
増減額(B-A)	0	0	0	△10	△1.46円
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	△3.2%	

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,523,746	3,538,754
売掛金	201,319	129,635
その他	42,608	63,468
流動資産合計	3,767,673	3,731,858
固定資産		
有形固定資産	49,084	61,735
無形固定資産	65,471	51,346
投資その他の資産	327,501	309,807
固定資産合計	442,057	422,890
資産合計	4,209,731	4,154,748
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,865	27,076
未払金	68,606	48,014
未払法人税等	86,958	20,945
前受金	477,741	632,458
賞与引当金	83,886	39,093
役員賞与引当金	—	8,504
その他	68,383	25,863
流動負債合計	819,442	801,956
固定負債		
退職給付に係る負債	6,584	2,170
従業員株式給付引当金	1,000	1,900
資産除去債務	25,600	33,690
固定負債合計	33,184	37,760
負債合計	852,627	839,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,403,018	2,358,941
自己株式	△57,235	△57,277
株主資本合計	3,342,555	3,298,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,548	16,594
その他の包括利益累計額合計	14,548	16,594
純資産合計	3,357,103	3,315,031
負債純資産合計	4,209,731	4,154,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,195,795	1,036,568
売上原価	354,157	385,147
売上総利益	841,637	651,420
販売費及び一般管理費	456,209	532,766
営業利益	385,428	118,654
営業外収益		
受取利息	69	71
受取配当金	6	6
助成金収入	—	668
雑収入	139	371
営業外収益合計	215	1,116
営業外費用		
事務所移転費用	—	277
雑損失	4	3
営業外費用合計	4	280
経常利益	385,639	119,490
特別損失		
減損損失	—	7,666
特別損失合計	—	7,666
税金等調整前四半期純利益	385,639	111,823
法人税、住民税及び事業税	128,582	11,531
法人税等調整額	△8,404	19,740
法人税等合計	120,177	31,272
四半期純利益	265,461	80,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,461	80,551

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	265,461	80,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,852	2,046
その他の包括利益合計	19,852	2,046
四半期包括利益	285,314	82,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,314	82,598
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385,639	111,823
減価償却費	89,910	54,084
のれん償却額	2,555	2,555
減損損失	—	7,666
賞与引当金の増減額(△は減少)	51,938	△44,793
受取利息及び受取配当金	△69	△77
売上債権の増減額(△は増加)	20,985	71,684
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△19,267	△13,850
前受金の増減額(△は減少)	202,114	154,717
その他	10,183	△53,443
小計	743,989	290,367
利息及び配当金の受取額	58	77
法人税等の支払額	△74,216	△75,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	669,831	214,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	610,118	600,000
定期預金の預入による支出	△600,000	△600,000
有形固定資産の取得による支出	△14,721	△40,322
無形固定資産の取得による支出	△99,503	△37,453
その他	—	2,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,106	△75,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△41
配当金の支払額	△86,548	△124,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,548	△124,670
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	479,175	15,008
現金及び現金同等物の期首残高	1,865,096	2,323,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,344,272	2,338,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失額
東京都中央区	システム開発サービス	のれん	7,666千円

当社の連結子会社である株式会社アクロテックの事業休止に伴い、当初想定していた収益が見込めなくなったことから、当第2四半期連結会計期間末ののれん未償却残高につき、のれんの減損損失として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,124,102	71,693	1,195,795	—	1,195,795
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	38,393	38,393	△38,393	—
計	1,124,102	110,086	1,234,188	△38,393	1,195,795
セグメント利益	627,453	9,833	637,286	△251,858	385,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△251,858千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	993,424	43,144	1,036,568	—	1,036,568
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	37,913	37,913	△37,913	—
計	993,424	81,058	1,074,482	△37,913	1,036,568
セグメント利益	394,662	△18,299	376,363	△257,708	118,654

(注) 1. セグメント利益の調整額△257,708千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「システム開発サービス」セグメントにおいて、株式会社アクロテックの事業休止に伴い、回収可能性が認められなくなったのれんの減損損失7,666千円を当第2四半期連結累計期間に、特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結会計期間末において、のれんの未償却残高はありません。